

事務事業名	図書館管理運営事業			事業コード	10051200101
所管部署	丸岡図書館	電話	67-1500	記入者名	渡邊 景子
事業対象	坂井市民全般、および市内通勤者、通学者				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	図書館法			
根拠例規	有	坂井市立図書館条例、坂井市立図書館条例施行規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画、坂井市子どもの読書活動推進計画			
事業の概要	地域社会の情報拠点として、幼児から学生、高齢者までの幅広い利用者の生涯学習の推進を図る。				
	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館資料の収集整備、貸出、情報提供</li> <li>おはなし会や講演会の開催及び配本等による読書普及活動</li> <li>施設の維持管理</li> </ul> <p>○報酬（図書館協議会委員報酬） 90千円</p> <p>○賞金（臨時職員賞金） 41,064千円</p> <p>○報償費（講師謝礼、協力者謝礼） 306千円</p> <p>○旅費（講師旅費他） 4千円</p> <p>○需用費 14,627千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消耗品費（定期刊行物購読料、新聞代他） 5,439千円</li> <li>その他需用費（印刷製本費、光熱水費、修繕費他） 9,188千円</li> </ul> <p>○役務費（電料他） 1,105千円</p> <p>○委託料 9,669千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館システム保守委託料 4,151千円</li> <li>その他委託料 5,058千円</li> </ul> <p>○使用料及び賃借料 12,473千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館システム使用 8,382千円</li> <li>その他使用料及び賃借料 4,091千円</li> </ul> <p>○備品購入費（図書購入・施設用備品購入） 23,068千円</p> <p>○負担金（図書館協会負担金） 39千円</p>				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	図書館サービスの向上のためには資料を充実させることが必要不可欠であるので、資料の予算を確保するためにも、施設の運営管理の内容の総点検を実施して経費削減を図るとともに、必要であれば事業の変更を行います。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	システム統合の利便性を生かし効率のよい資料購入に努め、資料の充実や利用者へのサービス向上に努めました。	
中長期的に取り組むべき改善提案	限られた財政の中で、図書館資料の充実を図っていくためには、図書館全体の事業を見直し効率的な運営を考えます。また、坂井市教育振興基本計画に基づき、多様な資料の提供を基本としたサービスの充実と、子ども読書活動の推進を図ることにより、読書環境の充実を計ってまいります。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	図書資料や新聞雑誌について利用者のニーズに対応できるよう検討を重ねながら発注し、サービスの充実に努めました。子どもの読書活動の推進においても各種行事において充実を図りました。	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	90千円	90千円	90千円	90千円	千円	千円	千円	
		委託費	9,185千円	9,261千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	13,945千円	13,254千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	992千円	989千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	35,637千円	35,785千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	59,849千円	59,379千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		総事業費	59,849千円	59,379千円	千円	千円	千円	千円		
		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
分担金・負担金	千円		千円	千円	千円	千円	千円			
地方債	千円		千円	千円	千円	千円	千円			
その他	269千円		261千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源	59,580千円	59,118千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	59,849千円	59,379千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	図書館の資料収集、整備、貸し出しや情報の提供等は、市民のニーズに適合していますのでこのまま継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	市の施設であり直接市民サービスを行う施設でもあるので、運営の見通しがされるまではこのまま市が主体となって実施します。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	坂井図書館については新館になり問題はありますが、あとの3館については年数も経っていることから修繕箇所も多く事業費の投入をお願いします。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	坂井図書館の人員不足は解消され、各館ローテーションも支障なくなってきました。今後も現状のままの人員確保をお願いします。			
すぐに行える改善提案	図書館サービスの向上のためには、資料の充実が不可欠です。資料の予算を確保するためにも、運営管理の内容の総点検を実施し経費削減を図っていきます。			
目標年度	—	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	限られた財源の中で図書館運営を図っていくためには効率的な運営により経費を削減し、また図書館全体の事業の見直しも図ります。また、システム統合の利便性を生かした資料の収集を行い利用者のニーズに応えます。子どもの読書推進活動の推進を図り読書環境の改善をしていきます。			
目標年度	—	年度		

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度				
成果	市民一人あたりの貸出冊数	冊	目標値	8.3	達成率	8.2	達成率				
			実績値	8.3	100	8.5	103.66	8.5	104.94	8.1	達成率
活動	図書資料費	千円	目標値	24,000	達成率	24,000	達成率	24,000	達成率	24,000	達成率
			実績値	23,000	95.83	23,000	95.83	28,000	116.67	23,000	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

事務事業名	記念文庫等管理運営事業 丸岡			事業コード	10051205101
所管部署	丸岡図書館	電話	67-1500	記入者名	渡邊 景子
事業対象	坂井市民および市内通勤者、通学者、全国の研究者				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無	図書館法			
根拠例規	無	坂井市立図書館条例、坂井市立図書館条例施行規則			
関連計画・マニュアル	無	坂井市教育振興基本計画、坂井市子どもの読書活動推進計画			

【事業の概要】

中野文庫及び小葉田文庫の蔵書、遺品の維持管理・収集を行うとともに、中野重治氏と小葉田淳氏を文化的先駆者として啓蒙を図る。

【事業内容】  
中野重治氏を偲ぶ「くちなし忌」の開催や生家跡の管理、各文庫の資料の収集整理、保存を行う。

○報償費（講師謝礼、出演者謝） 90千円  
○旅費（講師旅費等） 74千円  
○需用費（事務用消耗品費、光熱費他） 195千円  
○役務費（トイレ汲取料） 4千円  
○委託料（樹木選定業務委託料） 300千円  
○使用料及び賃借料（トイレ借上） 32千円  
○負担金（中野重治の会負担金） 5千円

【事業の目的・事業の概要等】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	294千円	294千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	188千円	71千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	3千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	124千円	142千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	606千円	510千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.00人	千円	0.20人	1,422千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.00人	千円	0.20人	1,422千円	人	千円	人	千円
		総事業費	606千円	1,932千円	千円	千円	千円	千円		
		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
使用料・手数料			千円	千円	千円	千円	千円	千円		
分担金・負担金	千円		千円	千円	千円	千円	千円			
地方債	千円		千円	千円	千円	千円	千円			
その他	千円		千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源	606千円	1,932千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	606千円	1,932千円	千円	千円	千円	千円				

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度				
成果	中野重治記念文庫見学者数	目標値	150	達成率	150	達成率	150	達成率	150	達成率
		実績値	140	93.33	167	111.33	173	115.33	178	118.67
成果	小葉田淳記念文庫見学者数	目標値	50	達成率	50	達成率	50	達成率	50	達成率
		実績値	57	114	65	130	54	108	78	156
活動	講演会参加人数	目標値	180	達成率	180	達成率	180	達成率	180	達成率
		実績値	259	143.89	180	100	200	111.11	187	103.89
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								

すぐに行ける改善提案	市民に対しての講演会や、様々な行事を開催しながら啓発をします。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	34回目の「くちなし忌」や地元の歴史をテーマにした講演会を開催し多くの市民の参加を得ました。
中長期的に取り組むべき改善提案	両氏関係の研究者が高齢となっていますので、今後、その研究者が保有する貴重な資料について、寄贈の申請が増加する傾向にあるので、その貴重な資料の収集に努めながら、記念文庫の取り組みを進めていきたいと考えます。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	貴重な資料が多くあるので当分の間は利用者の希望に応じての見学や資料の閲覧、レファレンスサービスを続けていきます。寄贈申請についてはその都度検討し収集に努めます。

有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	丸岡図書館の記念文庫は歴史と伝統をもつ丸岡町が輩出した、中野重治、小葉田淳、両文化人の膨大な蔵書の寄贈によって造られたものであり、その経緯を考えると、毎年行われるくちなし忌や講演会等、高賢人の威徳を市民に知らせる意味でも継続していきたいと思います。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	講演会の参加年齢や研究者の年齢を考えると、高齢化が進み運営を任せるのは困難と考えられます。郷土文化の高揚のためには実施主体は市であることが妥当であると考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	今後、記念文庫の運営方針が決定されるまでは、現状維持は必要だと考えます。			
人員投入の方向性	人員の増加を検討します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	丸岡図書館の記念文庫は全国的にも知られており、その資料を有効活用するには、それに対応できる専門職の配置を望みます。			
すぐに行ける改善提案	市民に対しての講演会や、様々な行事を開催しながら啓発していきます。			
目標年度	—	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	両氏関係の研究者が高齢となっているため、今後その研究者が保有する貴重な資料についての寄贈の申請や収集に努めながら記念文庫の取り組みを進めていきます。			
目標年度	—	年度		

【事業の成果】